

# テロ対策とセキュリティ・サービス

2020年3月

茂田忠良

# 内 容

---

第1部 テロ対策～世界標準と日本

第2部 セキュリティ・サービス  
から見た世界

# 第1部 テロ対策～世界標準と日本

- 1 テロ対策の関係組織
- 2 情報収集手法の違い
- 3 サイバー空間の課題
  - 3-1 サイバー空間の重要性
  - 3-2 NSAとUKUSAシグント同盟
  - 3-3 シグントによるテロ対策
- 4 その他の課題

# 1 (1) 世界の関係組織

	警察・ 治安所管	セキュリティ・ サービス	ヒューミント	シギント	イミント	軍諜報
米	司法省	FBI 国家安全保障局	CIA 中央諜報庁	NSA 国家安全保障庁	NGA 国家地理空間諜報庁	DIA 国防諜報庁
英	内務省	Security Service 安全保障局	SIS 秘密諜報局	GCHQ 政府通信本部	国防省DIJE	DIS 国防諜報局
豪	司法省	ASIO 豪安全保障諜報局	ASIS 豪秘密諜報局	ASD 豪信号局	AGO 豪地理空間諜報局	DIO 国防諜報局
加	公安省	CSIS 加安全保障諜報局	—	CSE 通信安全保障局	国防省地理空間諜報局	?
独	内務省	BfV 連邦憲法擁護庁	BND(連邦諜報局)			MAD 軍諜報局
仏	内務省	DGSI 対内安全保障総局	DGSE(対外安全保障総局)		DRM?	DRM 軍諜報局

# 1 (2) 日本との関係組織

## ○ 公安調査庁？ 約1500人

### ※ 任務(公安調査庁設置法第3条)

- 「破壊活動防止法」による「破壊的団体」の規制(活動制限、解散指定)に関する調査、処分の請求

日本共産党、極左暴力集団、右翼、朝鮮総連

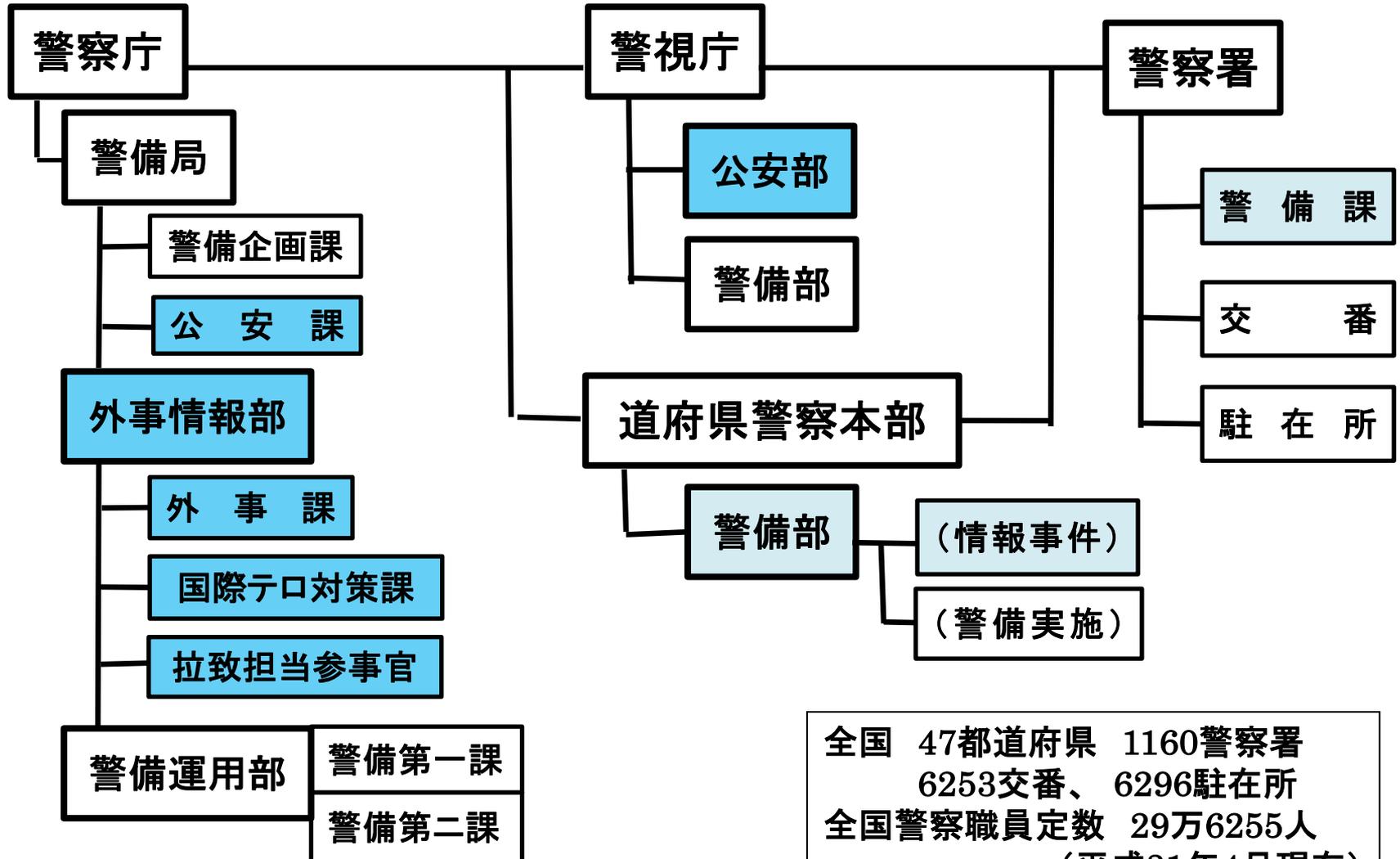
- 「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」による調査、処分の請求、規制措置(オウム)

## ○ 警備警察

# 1 (3) 警備警察

## ★ 警備警察

組織の総合力



全国 47都道府県 1160警察署  
6253交番、6296駐在所  
全国警察職員定数 29万6255人  
(平成31年4月現在)

# 第1部 テロ対策～世界標準と日本

1 テロ対策の関係組織

2 情報収集手法の違い

3 サイバー空間の課題

3-1 サイバー空間の重要性

3-2 NSAとUKUSAシグント同盟

3-3 シグントによるテロ対策

4 その他の課題

# 2(1) 情報収集力の実態

- ① **オウム・地下鉄サリン事件** 1995年3月20日
  - 世界初の大都市、化学兵器使用、無差別テロ
  - 政府対応:オウム新法1999年
  - 平成8年版警察白書 反省教訓の一つ  
「特殊な閉鎖的犯罪組織についての情報不足」  
今後は未然に探知し、阻止できるのか。
- ② **中核派・大坂正明の逮捕** 2017年5月
  - 警察官殺害(渋谷暴動)で1972年に指名手配  
日本警察の情報収集力

# 2(1)情報収集力の実態

## ③ IS戦士の帰国者対策

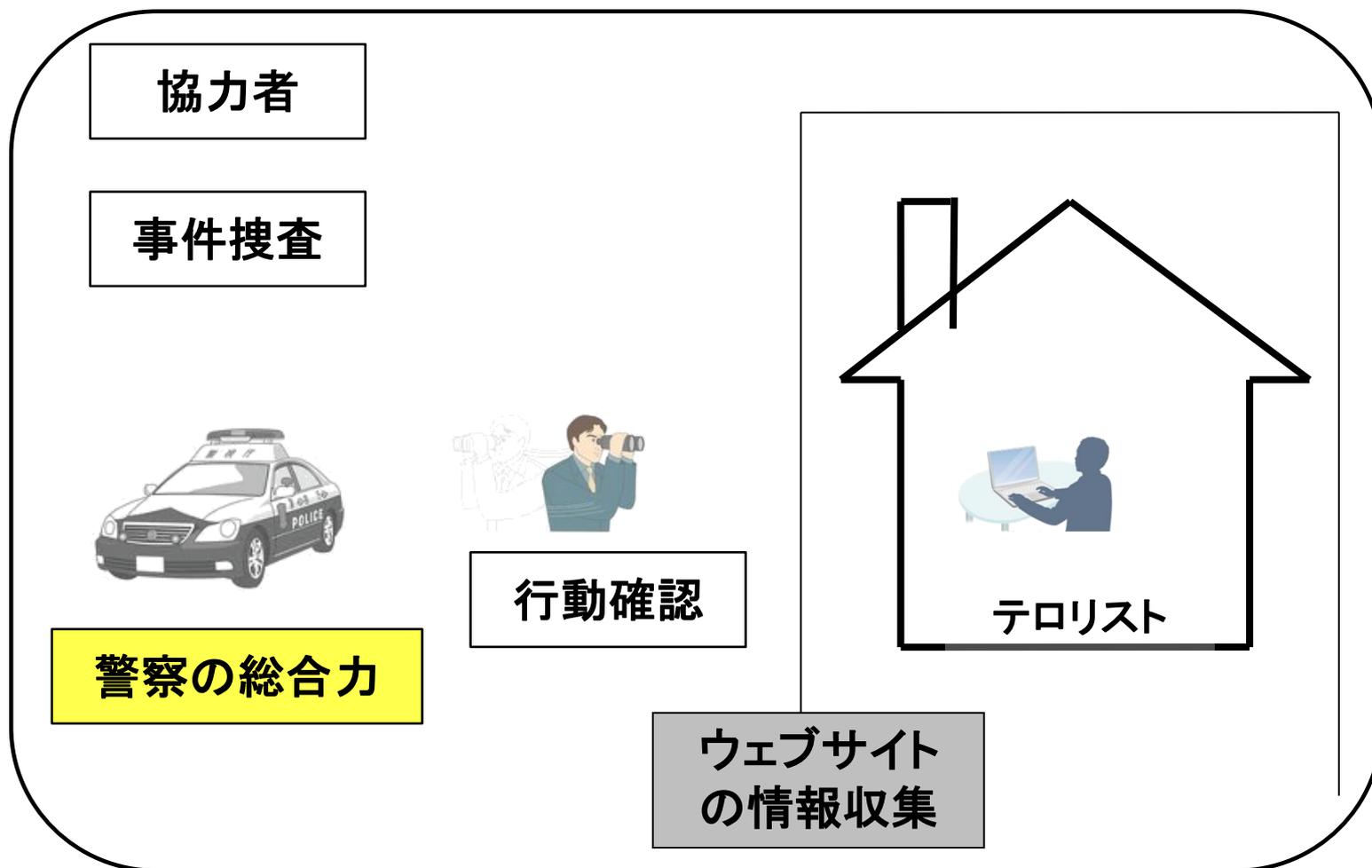
- 処罰できるのか。
- 拘束できるのか。
- 十分な監視ができるのか。

(普通の国の手法)

- 面接
- 周辺に協力者
- メール通信の監視、ウェブ閲覧の監視
- 秘密搜索、秘密手荷物検査
- 住居への傍受・撮像装置設置

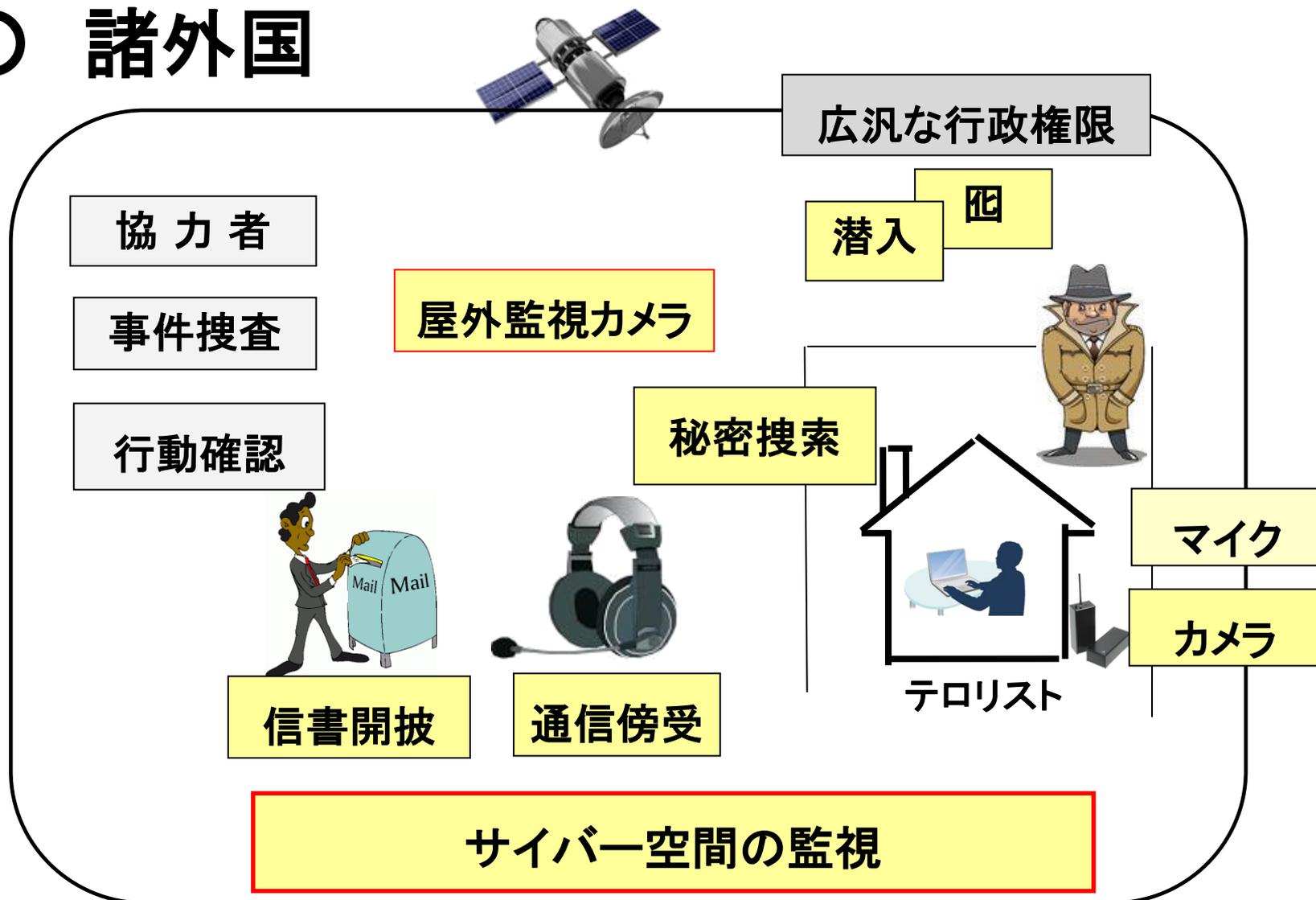
# 2(2) 我が国の情報収集手法

## ○ 日本



# 2(3) 諸外国の情報収集手法

## ○ 諸外国



# 2(4) 英国RIPA2000、IPA2016

## 2000年調査権限規制法、2016年調査権限法

- 通信傍受・郵便検閲 interception of communications
- 通信メタデータ use of communications data
- 監視(車両への位置発信装置設置を含む)  
directed surveillance
- 侵入的監視(住居、ホテル客室、自動車内:  
秘密搜索、監視機器設置) intrusive surveillance
- ヒューミント(潜入、協力者)  
covert human intelligence source

内務大臣制定の各種実施規範Codes of Practice

RIPA2000第71条、IPA2016附則第7



# 第1部 テロ対策～世界標準と日本

- 1 テロ対策の関係組織
- 2 情報収集手法の違い
- 3 **サイバー空間の課題**
  - 3-1 **サイバー空間の重要性**
  - 3-2 NSAとUKUSAシグント同盟
  - 3-3 シグントによるテロ対策
- 4 その他の課題

# 3-1(1)サイバー空間の状況

## <サイバー空間>

あらゆる活動がなされる巨大空間。国境がなく、世界一体化。

### ○ テロに関連する活動

- テロ集団の思想宣伝、リクルート、思想教育  
～DABIQ, Inspire, 説教
- テロ技術の伝達  
(爆発物製造方法、車両使用の殺害方法)
- テロ計画の立案、準備  
(標的調査、グーグルマップ、攻撃手段)
- テロ実行の際の通信連絡  
～2008年ラシュカル・エ・タイバ
- 活動資金調達
- サイバー・テロ  
～2017年CyberCaliphate

# 3-1 (2) サイバー空間の状況

## ○ サイバー空間における対テロ活動

サイバー空間における容疑者の発見、追跡、監視

① テロ容疑者の容疑解明 Target Development

② テロ容疑者の発見 Target Discovery

～既知のテロ関係者から手繰り発見する。

③ テロ容疑者の発見 Target Discovery

～ネット空間における行動分析から発見する。

欧米のテロ対策の重点はサイバー空間

日本では？

## ○ サイバー空間で必要な情報活動の枠組

<セキュリティ・サービス>

<シギント機関>

<行政傍受>



# 3-1 (4) シギントの重要性

元米国家テロ対策センター長

マイケル・ライター

「NSAが傑出した選手或いは中心プレーヤー  
でなかったテロ調査・捜査というのは  
思い付かない。」

「NSAほどアルカイダの内部状況について  
知見を与えてくれたものはなかった。」

# 第1部 テロ対策～世界標準と日本

- 1 テロ対策の関係組織
- 2 情報収集手法の違い
- 3 サイバー空間の課題
  - 3-1 サイバー空間の重要性
  - 3-2 NSAとUKUSAシグント同盟
  - 3-3 シグントによるテロ対策
- 4 その他の課題

## 3-2 UKUSAシギント同盟

- 1940年4月 英米諜報協力を協議
- 1940年12月 **英米**シギント協力で合意
- 1941年2月 実務レベル協力開始(ロンドン、シンガポール)
- 1946年3月 BRUSA協定締結(British-USA)
- 1954年 UKUSA協定(UK-USA) と改称
- 他の3国の正式参加 UKUSA、FVEY(Five Eyes)
  - 加**～1949年(CANUSA協定)
  - 豪、NZ**～1956年(UKUSA附属文書J1記載)
- 2010年 UKUSA協定・情報開示

# 3-2 (1) 米国NSA

## NSA(National Security Agency) 国家安全保障庁

1952年設立、1975年存在を公認

○ 職員：2013年定数 3万4901人(軍人1万4950人)

2018年報道：**正規職員3万8千、契約職員1万7千人**

加えて、陸海空軍・海兵隊・沿岸警備隊のシギント部隊を指揮下に。

○ 予算：

2018会計年度諜報機関予算

国家諜報予算＋軍諜報予算＝合計

594億ドル      212億ドル      815億ドル

2013年

シギント予算＝NSA108億＋NRO＋軍予算他

**総計、200億ドル、2兆円規模？**

# NSA本部



NSA本部(フォートミード)全景

# 3-2 (2) 英・加・豪・NZ

## Second Party諸国

英: GCHQ政府通信本部: 約6千人、15億ポンド+

加: CSE通信保全局: 約2千人、5億カナダドル程度?

豪: ASD豪信号局: 約2千人

NZ: GCSB政府通信保全局: 430人、1億6千NZドル

共同の収集分析、共同のシステム構築など  
統合運用の段階

## 3-2 (3) 協力組織・国

### (1) SSO (Special Source Op. 特別資料源作戦)

民間企業の協力を得て行うシグント資料収集

NSAの収集データの内、コンテンツ情報の60%、

メタデータ情報の75%近くを占める

### (2) Third Partyとの協力(パートナー&標的、ギブ&テイク)

(2013年現在33ヶ国)

<欧州> 18国: 独、仏、伊、西、蘭、ベルギー、デンマーク、  
ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、墺、ポーランド、チェコ、  
ハンガリー、クロアチア、ギリシャ、マケドニア、ルーマニア

<アフリカ> 3国: アルジェリア、チュニジア、エチオピア

<中東> 5国: イスラエル、トルコ、ヨルダン、サウジ、UAE

<アジア> 7国: シンガポール、韓国、タイ、インド、日本、  
台湾、パキスタン

# 3-2(4) 収集態勢

傍受施設500ヶ所  
主要施設150箇所



漏洩されたパワーポイント資料・2008年2月25日付

# 3-2(4) 収集態勢～プラットフォーム

- (ア) 「プリズム」計画～米国内民間データセンターから収集  
マイクロソフト、ヤフー、グーグル、フェイスブック、パルトーク、  
ユーチューブ、スカイプ、AOL、アップル
- (イ) 通信基幹回線からの収集～世界中と米国内  
「企業協力」(内外)「UKUSA諸国、サードP協力」「米単独事業」(国外)
- (ウ) 外国衛星通信の傍受 FORNSAT  
主要施設12ヶ所、SCS約40ヶ所
- (エ) SCS(特別収集サービス)～CIAとの共同事業  
米国の在外公館約80ヶ所 + UKUSA諸国の在外公館
- (オ) 衛星・機上収集Overhead
- (カ) CNE(Computer Network Exploitation)
- (キ) 従来型収集(無線通信の傍受)Conventional

# 第1部 テロ対策～世界標準と日本

- 1 テロ対策の関係組織
- 2 情報収集手法の違い
- 3 サイバー空間の課題
  - 3-1 サイバー空間の重要性
  - 3-2 NSAとUKUSAシグント同盟
  - 3-3 シグントによるテロ対策
- 4 その他の課題

# 3-3 テロ対策への貢献：米国

## (1) 2009年9月NY地下鉄同時自爆攻撃未遂事件

NSAは(FISA702条収集で)、アルカイダ連絡員(パキスタン拠点)のEメールアドレスを監視。9月上旬米国内の不明人物から同アドレスへのメール複数を捕捉。爆弾の作成方法の詳細について緊急に助言を求めていると推定し、FBIに通報。

FBIはNSLを発出して情報収集、コロラド州のナジブラ・ザジと特定。FBIは、秘密搜索やインターネット監視など、徹底した監視を実行。ザジは高校の同窓生2人と、NY市マンハッタンでTATP爆弾による地下鉄自爆攻撃(3箇所)を計画。

ザジは10日にNY市に移動したが、警察やFBIによる監視に気が付き、テロ実行を中止して爆弾材料を処分し、コロラドに戻ったが、逮捕された。

出典：PCLOB, *Report on the Surveillance Program Operated Pursuant to Section 702 of the FISA*, 2 July 2014

# 3-3 テロ対策への貢献：米国

## (2) 外国のテロ対策への貢献

事例① FISA702条収集によって某国内にアルカイダ同調者を発見。CIAが当該国政府に通報。

同国政府機関は、同人を調査した上で、協力者として獲得。

同人は同国内のアルカイダとIS関係者に関して情報を提供。

事例② CIAが、FISA702条収集(プリズム)によって

写真他の詳細情報を入手してアフリカ某国政府に提供。

同政府は、IS戦闘員2名を逮捕。同人らはトルコから入国し、米国人と米国権益に対する近々の攻撃計画に関与。

逮捕により、CIAはISの組織や攻撃計画に関する情報を獲得。

出典：ODNI, *The FISA Amendments Act: Q&A*, 18 April 2017

# 3-3 テロ対策への貢献：英国

## (1) 2007年英国兵士に対する誘拐殺人テロ阻止

テログループが、英国内でイスラム教徒の英国兵士を誘拐し殺害を立案。犯行状況をビデオ撮影し、海外関係者に送信して海外で公開企図。通信メタデータの通信パターン分析により、セキュリティと諜報諸機関は、同グループを発見。

警察が関係施設の搜索、誘拐殺人計画を確認。

## (2) 2014年西側某国における爆弾テロ阻止

セキュリティと諜報諸機関のシグント情報の分析から、シリア内IS関係過激派と接触を持っている某国の者を特定。更なる分析により、同人が最近欧州の某国を訪問したこと、テロ攻撃を計画していることが判明。関係国政府に情報を提供。同国政府は攻撃を阻止、手製爆弾数個を押収。

出典： UK Home Office、*Operational Case for Bulk Powers*, 1 March 2016

参考「オサマ・ビンラディンを追え(下)テロ対策に活用できるシグント能力」『現代警察』第157号

# 第1部 テロ対策～世界標準と日本

- 1 テロ対策の関係組織
- 2 情報収集手法の違い
- 3 サイバー空間の課題
  - 3-1 サイバー空間の重要性
  - 3-2 NSAとUKUSAシグント同盟
  - 3-3 シグントによるテロ対策
- 4 **その他の課題**

# 4 その他の課題

平成28年版『警察白書』特集：米英仏独の対策例

## ◎ テロ関係情報の集約・分析

2017年7月「セキュリティ情報センター」(警察庁)

2018年8月「国際テロ対策等情報共有センター」

(内閣官房)

## ◎ テロ周辺行為(準備、支援、唱道など)犯罪化

2017年テロ等準備罪制定で充足されたのか？

## ◎ 通信傍受(行政傍受)

## ◎ テロ関係容疑者に対する各種行動制限

身体拘束、居住制限、出入国制限等

# 4 その他の課題

## 他の諸課題

- ◎ **業務情報(金融・通信等)の安全保障目的収集**
  - 個人情報保護法の解釈問題？
  - 米National Security Letter
- ◎ **通信メタデータの扱い**
  - 通信メタデータは「通信の秘密」に含まれない(諸外国)
  - 通信履歴の保存義務
- ◎ **重要施設従業員の適格性の審査制度**
  - 原発、原子力関連だけ？
- ◎ **外国人管理の思想**
  - 出入国管理
  - 在留管理の担保措置(住民登録情報、宿泊カード他)

# 4 その他の課題

＜通常の民主主義国家にあるもの＞

## ◎ 調査権限を持つセキュリティ・サービス

調査権限～通信傍受、侵入的監視、潜入他

憲法35条の問題～行政通信傍受・監視裁判所の設置？

調査権限～一般行政・業務情報へのアクセス権

## ◎ 調査権限を持つ国家シグント機関

通信事業者の協力義務

## ◎ 総合治安担当省（＝内務省）

通常、内務大臣の指揮下にある関係機関

警察（警察庁）、セキュリティ・サービス（？）、

国境警備（海上保安庁）、外国人管理（入管庁）、消防

総合治安に責任を有する閣僚が不在

# まとめ

- ★ 脆弱性と不十分性の自覚
- ★ 実態を前提とした議論
  
- 欧米型のテロ対策に進むのか？
- 違いを認識しつつ現状の構造を維持？
  
- ※ 情報収集力の弱体は  
スパイ対策の弱体や  
サイバーセキュリティ対策の弱体とも関連

# 内 容

---

第1部 テロ対策～世界標準と日本

第2部 セキュリティ・サービス  
から見た世界

# 第2 Security Serviceから見た世界

- 序 セキュリティ・サービスとは？
- 1 19世紀：帝国主義の時代
- 2 20世紀：共産主義の登場
- 3 戦間期
- 4 冷戦の時代
- 5 21世紀の世界

# 序 Security Serviceとは？

## <任務と機能>

### ○ 任務 国家の安全保障

※ 軍事的手段以外の脅威から国家を守る

※ 国家の何を守るのか。

▪ 存立(安全)・憲法(→国家の基本秩序→国の形)

### ○ 何から守るのか？

▪ スパイ活動 : CE (Counter-Espionage)

⇒ CI (Counter-Intelligence)

▪ 国家転覆活動 : CS (Counter-Subversion)

▪ テロ : CT (Counter-Terrorism)

▪ CP (Counter-Proliferation)

# 序 Security Serviceとは？

## (例) 豪州のASIOの公表任務 (ASIO Website)

### ○ 対政府セキュリティ上の脅威情報の収集分析報告。

セキュリティ＝スパイ、破壊活動、政治目的の暴力、国防システムに対する攻撃、外患誘致活動その他からの国家の防護。

### ○ テロリスト(CT)、政治目的の暴力活動(CS)、政府秘密情報の入手を図る者(CE)の意図と活動を探知。

法執行機関ではなく、逮捕権を有しない。

合法的な抗議活動、犯罪自体は調査しない。

犯罪と関連する場合は、法執行機関と緊密に連携する。

### ○ 政府にセキュリティ評価を提供

セキュリティ・クリアランス、入国・在留許可、空港港湾等の制限区域へのアクセス許可に関する評価を含む。

### ○ 外務省及び国防省の要請を受けて

国内で行う対外情報の収集

# 第2 Security Serviceから見た世界

- 序 セキュリティ・サービスとは？
- 1 19世紀：帝国主義の時代
- 2 20世紀：共産主義の登場
- 3 戦間期
- 4 冷戦の時代
- 5 21世紀の世界

# 1 19世紀：帝国主義の時代

## <19世紀：帝国主義の時代>

### ○ 「文明」と「野蛮」

「文明国」＝主権国家として対等

Nation State System

「非文明世界」＝アジア、アフリカ

### ○ 文明国間＝諸帝国の対立競争の時代

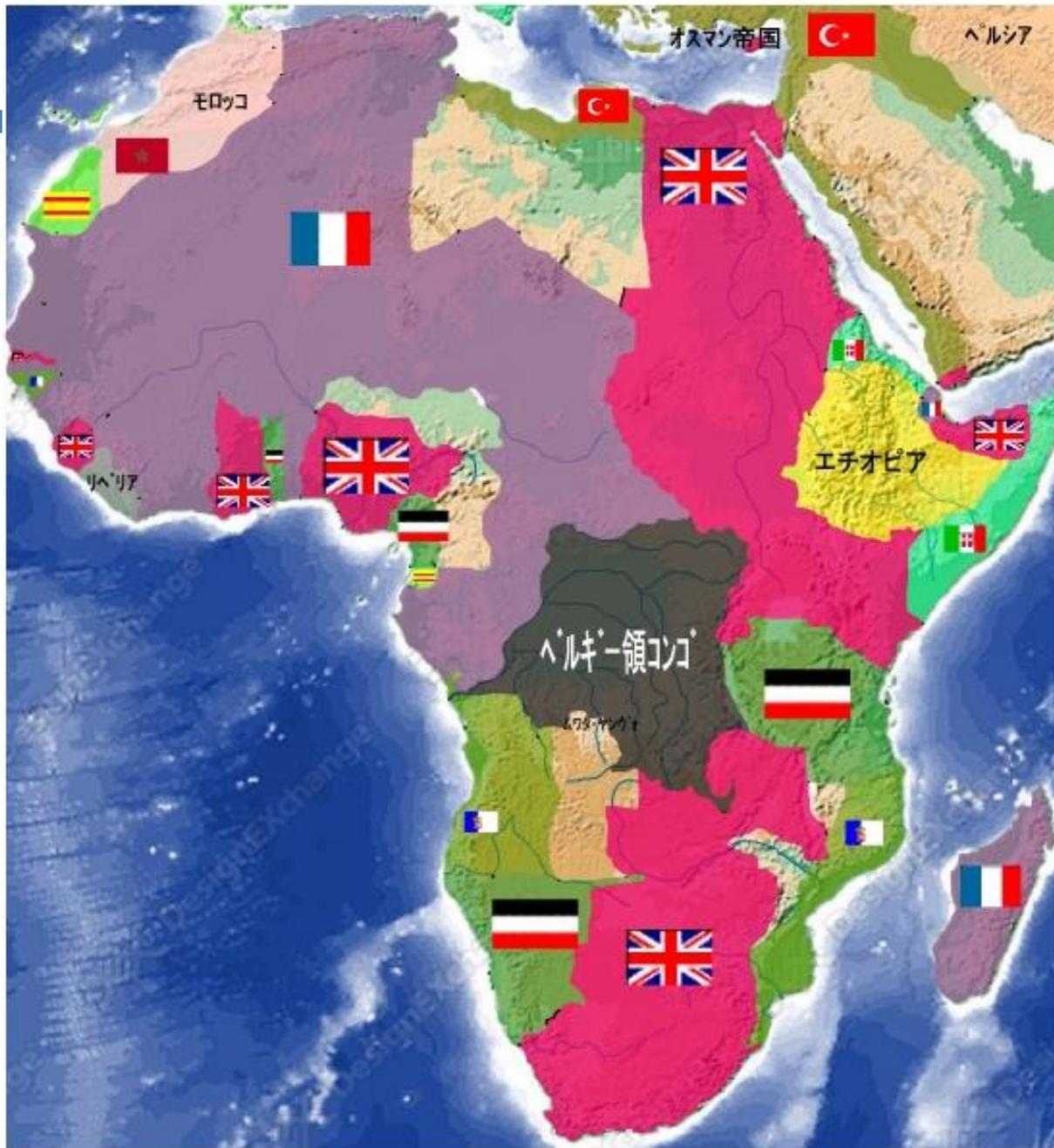
### ○ 諸帝国 大英帝国、フランス、オランダ

ロシア、アメリカ合衆国、

ドイツ、イタリア

日本

# 1910年頃



<https://www.google.com/search?hl=ja&tbm=isch&source=hp&biw=1920&bih=900&ei=Z3vQWsuZIIiA8wXVy5PQA&q=1900年のアフリカ>

# 1910年頃



<https://www.google.com/search?hl=ja&tbm=isch&source=hp&biw=1920&bih=900&ei=Z3vQWsuZlIIA8wXVy5PQAw&q=1900年のアフリカ&oq>

# 第2 Security Serviceから見た世界

- 序 セキュリティ・サービスとは？
- 1 19世紀：帝国主義の時代
- 2 20世紀：共産主義の登場
- 3 戦間期
- 4 冷戦の時代
- 5 21世紀の世界

## 2 20世紀：共産主義の登場

### <20世紀：共産主義の登場、ロシア革命>

○ ブルクハルト(スイス人、1818～1897)

「共産主義という妖怪が欧州を徘徊している。

20世紀は共産主義との対決の時代となるだろう。」

○ ロシア革命(1917年11月)

○ 共産主義国家：ソ連邦の誕生(1922年12月)

- 世界の歴史は階級闘争の歴史
- 資本主義社会⇒社会主義社会⇒共産主義社会
- 国家の本質は、暴力。階級独裁の道具。
- 合法性の概念はない。法の支配の概念もない。
- 「文明国」間の国際法秩序を否定

# 2 20世紀：共産主義の登場

## ★歴史の発展法則

社会形態	原始 共同体	奴隷制 社会	封建制 社会	資本主義 社会	社会主義 社会	共産主義 社会
支配階級 搾取階級	不存在	奴隷 所有者	封建領主	資本家	労働者	不存在
被支配階級 被搾取階級		奴隷	農奴	労働者	旧搾取階級	
国家形態 独裁形態	不存在	古代王朝	封建王政	ブルジョア 民主主義	プロレタリア 独裁	国家の消滅

- 「マルクスは、人類社会の発展法則を『発見』した」
- 「歴史の必然的な法則に基づいて、資本主義社会の次には、社会主義社会、共産主義社会が現れると『科学的に』予言した。」
- 「マルクスの眼鏡を掛けて見れば、人類の歴史は未来の先の先まで見透すことができる」  
(以上、元共産党員・兵本達吉氏<sup>46</sup>)

# 2 20世紀：共産主義の登場

## ★歴史の発展法則

社会形態	原始 共同体	奴隷制 社会	封建制 社会	資本主義 社会	社会主義 社会	共産主義 社会
支配階級 搾取階級	不存在	奴隷 所有者	封建領主	資本家	労働者	不存在
被支配階級 被搾取階級		奴隷	農奴	労働者	旧搾取階級	
国家形態 独裁形態	不存在	古代王朝	封建王政	ブルジョア 独裁	プロレタリア 民主主義	国家の消滅
			↑ ブルジョア 民主主義革命	↑ 帝国主義	↑ 社会主義革命	

# 2-2 共産主義の諜報基本姿勢

## ★共産主義がもたらす諜報基本姿勢

ア 自己「正義」の絶対化(確信)

イ 攻撃的世界戦略と攻撃的諜報活動

- 目標は世界革命。世界革命のための諜報活動
  - 世界は常時「闘争」状態。「戦時」と「平時」の別無し
  - 積極工作(謀略、政治的陰謀、破壊活動等)は当然
- <背景>資本主義国家の侵略性についての確信

ウ 諜報活動における革命的暴力の容認

- 革命とはそもそも暴力なのだ！

# 2-2 共産主義の諜報基本姿勢

## エ 社会全体を工作対象と捉える

- 労働運動
- 農民運動
- 青年運動
- スポーツ

## オ 宣伝(プロパガンダ)重視

- カール・ラデック(コミンテルン書記)

「嘘も百回言えば本当になる」：有名な「格言」

## カ 党中央が諜報の主体(主催者、責任者)

- 革命戦略の一環としての諜報
- 党の外事工作、諜報、外交の一体化
- 党自体が巨大なる工作機関
- 投入資源の違い～戦略、名誉

# 2-2 共産主義の諜報基本姿勢

キ 国内活動と国外活動の区分がない。

- 国家の本質は暴力だ。
- 立憲主義や「法の支配」の不存在
- **国内外**でのインテリジェンスに、  
「法の支配」は及ばない。

ク 産業スパイの重視

- 産業スパイに対する罪悪感の欠如

# 第2 Security Serviceから見た世界

- 序 セキュリティ・サービスとは？
- 1 19世紀：帝国主義の時代
- 2 20世紀：共産主義の登場
- 3 **戦間期**
- 4 冷戦の時代
- 5 21世紀の世界

# 3 戦間期

## <戦間期の世界の構造>

**国際共産主義**

対米工作  
対日工作  
対中工作  
(中共、国民党)

**日本帝国主義**

コミンテルン日本支部  
ソ連スパイ  
(ゾルゲ事件等)  
右翼テロ、クーデタ

**米欧帝国主義**

米国共産党の協力  
ソ連スパイ

・対日諜報(シギント等)

### ○ レーニン、スターリンの大戦略

帝国主義国家同士を戦わせる。特に、独×英仏、日×米  
廃墟の中から、世界の社会主義革命を。

## 3-2 世界革命戦略

### ★レーニン〈基本戦略〉(ML主義の基本思想)

- 資本主義国家間では戦争は不可避。

資本主義国＝帝国主義国＝戦争勢力

社会主義国＝平和勢力

恒久平和＝世界革命

- 大戦略「敗戦革命論」～ロシア革命の応用

- 資本主義国家間の矛盾対立を煽る
- 資本主義国同士で戦争を起こさせる
- 敗戦の混乱に乗じて政府を打倒し権力を奪う

## 3-2 世界革命戦略

### ★レーニン〈演説〉 1920年12月モスクワ

- 帝国主義の間の矛盾と対立を利用する。
- 第1の対立は、**日本とアメリカ**の関係。強大な資本主義(米)が弱い資本主義(日)が奪い集めたもの(中国)を全てその手から奪取しないと考えるのは滑稽である。…実践的課題は、この敵意を利用して彼らを互いにいがみ合わせる事。
- 第2の矛盾は、アメリカと残りの資本主義世界全体との矛盾。
- 第3の不和は、**英仏とドイツ**との間。ドイツは…、ヴェルサイユ条約を耐えることはできない。

## 3-2 世界革命戦略

### ★第7回コミンテルン大会(1935年8月)

- 当面の敵は、日、独、ポーランド。  
これら諸国の打倒のためには、  
英、仏、米の資本主義諸国とも積極的に提携。
- 中国では抗日反帝統一戦線を(国共合作)

#### <具体的工作>

- ☆ ドイツの矛先を、ソ連から英仏へ (1939年独ソ不可侵条約)
- ☆ 日本の矛先を、蒋介石政権の中国へ (支那事変の工作)  
(1937年7月～盧溝橋事件、通州事件、上海事件)
- ☆ 日本における反中国気運の醸成 (例:尾崎秀実)
- ☆ 日本の矛先を、ソ連から米英へ (1941年日ソ中立条約)
- ☆ 米国における日米離間

# 3-3 戦前の対米工作

## ◎ 膨大なソ連協力者(スパイ)網

＜ヴェノナ作戦で判明した者349人＞ ローズベルト政権への浸透

## ◎ 米国共産党の方針～1935年運動方針

最終目標「米国における共産主義革命」

当面目標「日独から革命の祖国ソ連を守る」

- ・ ソ連の当面の敵・日独と米国の関係を悪化させ、  
米国が日独に圧迫を加えるよう誘導する。
- ・ 宣伝スローガン～「民主主義」擁護(＝ソ連擁護)

「ドイツ、日本、イタリア」ファシスト排撃

## ◎ (例)ハリー・デクスター・ホワイト 財務省高官

＜「雪」作戦＞「日米戦争の促進」ハルノート(1941年11月)原案作成

## ◎ メディアへの浸透と反日宣伝

# 3-3 戦前の対日工作

- ◎ **日本共産党** 1922年～1934年壊滅  
コミンテルン日本支部として暴力革命活動  
資金、運動方針、人材育成の全てを依存
- ◎ **ゾルゲ諜報団** 1933年9月来日～41年10月検挙  
近衛内閣のブレーン尾崎秀実らの協力を得て、  
日独の政治軍事に関する最高機密情報を通報。
  - 1941年6月独ソ開戦、独軍による攻撃開始を予告。
  - 1941年夏、日本の南進方針を通報。
- ☆ **尾崎秀実の積極工作** : 言論活動と内閣への働掛け
  - 国民党政府との**戦争拡大と和平反対**を唱える
  - 北進(ソ連との戦争)に反対、**南進論**を唱える

# 3-3 戦前の中国共産党の戦略

- ◎ 1935年8月 コミンテルン第7回大会決議の一部  
「中国に広汎な抗日反帝統一戦線を打ち立てよ」

日本軍と蒋介石を戦わせて共倒れさせ、共産革命を成功させる

中共「抗日救国のために全同胞に告ぐ書」発表

36年12月 「西安事件」(張学良が蒋介石を監禁)

37年7月7日 盧溝橋事件 (共産党工作員が発砲)

7月29日 通州事件(日本人虐殺。共産党の工作説)

37年8月13日 上海事件(上海防衛隊司令官:張治中)

- ◎ 1937年8月22日 洛川会議(中共政治局拡大会議)

抗日戦争中は共産党軍の強大化が第一目的。

日本軍との正面衝突は避けよ。

日本軍が敗退したら一気に国民党軍を打倒する。

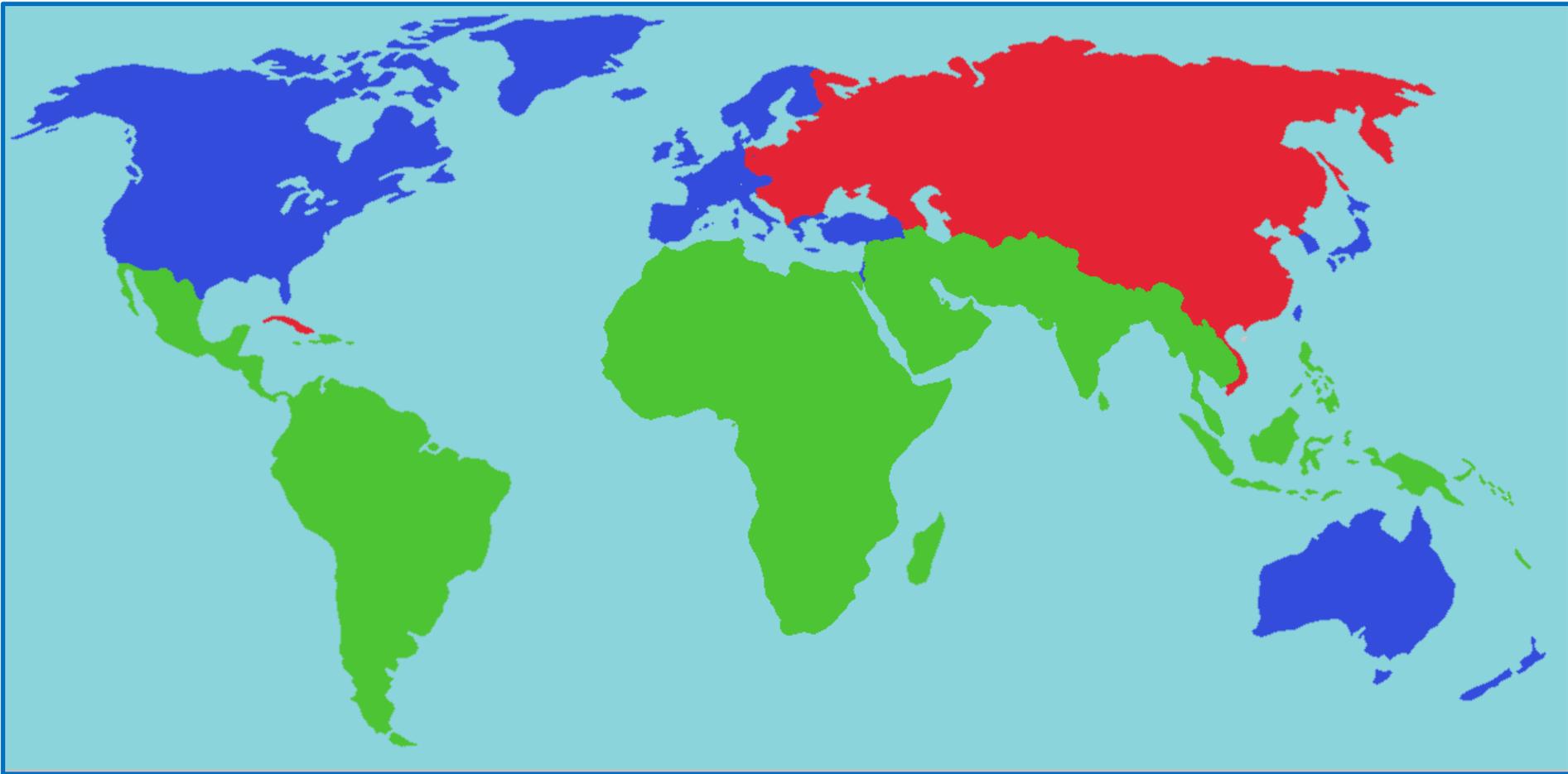
日中戦争中、中国共産党は、日本軍と協力(情報とカネ)

# 第2 Security Serviceから見た世界

- 序 セキュリティ・サービスとは？
- 1 19世紀：帝国主義の時代
- 2 20世紀：共産主義の登場
- 3 戦間期
- 4 冷戦の時代
- 5 21世紀の世界

# 4 冷戦の時代

## <第二次大戦後：冷戦の時代>



[http://1.bp.blogspot.com/\\_TWjTpOL2JTY/S7rQLNqYI4I/AAAAAAAAADk/14IFu46pgMM/s1600/World\\_map\\_worlds\\_first\\_second\\_third.gif](http://1.bp.blogspot.com/_TWjTpOL2JTY/S7rQLNqYI4I/AAAAAAAAADk/14IFu46pgMM/s1600/World_map_worlds_first_second_third.gif)

# 4 冷戦の時代

## <第二次大戦後：冷戦の時代>

**国際共産主義  
(社会帝国主義)**

ソ連  
中華人民共和国  
1949.10.10  
北朝鮮  
南進1950.6

**自由世界  
(米帝国主義)**

日本

**日本共産党(暴力革命)**  
**スパイ工作(ソ・中・朝)**  
極左テロ  
国際テロ  
右翼テロ、クーデタ  
宗教テロ

## 4-2 冷戦下の主要対日脅威

- ◎ **日本共産党による武装闘争1951～53年**  
スターリンの直接指導、ソ中の指揮支援。
- ◎ **ソ連による各種情報収集・積極工作**
- ◎ **北朝鮮の諜報戦略と対日工作**
- ◎ **中国による対米政略・対日工作**
- ◎ **極左暴力集団～共産主義運動から派生**
- ◎ **右翼運動**
- ◎ **宗教・カルト集団**
- ◎ **国際テロ**

# 第2 Security Serviceから見た世界

- 序 セキュリティ・サービスとは？
- 1 19世紀：帝国主義の時代
- 2 20世紀：共産主義の登場
- 3 戦間期
- 4 冷戦の時代
- 5 21世紀の世界

# 5 21世紀の世界

## <21世紀の世界の構造>

※ ソ連崩壊:1991年12月

ソ連共産党解散

ソ連大統領ゴルバチョフ辞任

○ 21世紀は如何なる世紀か？

○ フランシス・フクヤマ『歴史の終わり』

民主主義と自由経済の最終勝利。

イデオロギー対立の終焉。

???

## 5-2 各国のイデオロギー

### <イスラム教(サラフィー主義)>

**nation-state system (欧米規範)の否定**  
神のみが立法と統治を行える。  
植民地体制を引き継いだ国家枠組が  
思想的にも国境においても動揺。

### <ロシア> 「共産主義の残滓」

共産主義イデオロギーは崩壊  
統治技術としてのレーニン主義は健在

# 5-2 各国のイデオロギー(北朝鮮)

<北朝鮮> 「共産主義」+「金日成主義」

ア 現状認識と目標

「南朝鮮は米帝による植民地支配下」⇒民族解放闘争

イ <南朝鮮革命と祖国統一>「祖国統一事業」

○ 共和国北半部(北朝鮮) = 革命基地の革命力量

四大軍事路線 ① 全人民の武装化、② 全軍の幹部化  
③ 全軍の現代化 ④ 全国土の要塞化

○ 共和国南半部(南朝鮮)の革命力量

- ・ 革命の主力部隊 ~ 地下党の建設
- ・ 統一戦線工作(補助的力量): 知識人、青年学生、他
- ・ 反革命勢力の弱体化 ~ 敵軍(韓国軍)瓦解工作

○ 国際革命力量(特に日本=朝総連や迂回浸透工作)

# 5-2 各国のイデオロギー（北朝鮮）

＜北朝鮮＞ 「共産主義」+「金日成主義」

ウ 統一方針「米帝を南朝鮮から追い出す」

① 「米国本土を攻撃できる手段を持つこと」

金日成による教示

核兵器と長距離ミサイルの自力生産（1968年言及）

特攻隊、僑胞組織、化学兵器（1974年言及）

② 南朝鮮における「反米自主化闘争」

③ 敵の内部矛盾と弱点を見つけ出し、

助長して敵同士をいがみ合うようにさせ、

その混乱した空白を利用して革命運動を発展させる。

# 5-2 各国のイデオロギー（中国）

＜中国＞「共産主義」+「中華思想」+「民族主義」

## ア 世界観と諜報

- 共産党の下に発展した諜報文化、諜報技術
- 「孫子」以来の諜報工作文化
- 春秋戦国時代、三国志の世界観「ゼロサム」

## イ 「中華民族の偉大な復興の実現」国家目標

～共産主義であると同時に、中華天下の快復

～欧米列強の作った近代国際法は認めない。

～現行国際規範原則の「合理化」「民主化」

～既存受益者（欧米日）の抑制

「最も優れた中国文明を頂点とする統合された世界システム」

～背景に明治日本から学んだ民族主義

# 5-2 各国のイデオロギー（中国）

＜中国＞「共産主義」+「中華思想」+「民族主義」

## ウ 復仇

「過去100年に及ぶ屈辱に復讐すべく、革命100周年に当たる2049年までに世界の経済・軍事・政治のリーダーの地位をアメリカから奪取する」

「過去の屈辱を清算して、中国にとって公正な世界、覇権国の支配なき世界を構築する。」

**(屈辱)** 阿片戦争1840年～中華天下でない別の天下(世界秩序)の存在  
日清戦争1894,5年～中華天下の崩壊、朝貢国(朝鮮)の消滅

## 5-2 我々のイデオロギーは？

**「近代民主主義思想」=ブルジョア民主主義**

- 人権思想
- 代議制政府
- 立憲主義～法の支配

**米国:近代民主主義+資本主義+指導国家**

**日本:近代民主主義+資本主義+「平和主義」**

# 内 容

---

第1部 テロ対策～世界標準と日本

第2部 セキュリティ・サービス  
から見た世界

ご清聴ありがとうございました。